

平成27年度
全国学力・学習状況調査

解説資料

一人一人の児童の学力・学習状況に応じた
学習指導の改善・充実に向けて

小学校
国語



平成27年4月

国立教育政策研究所 教育課程研究センター

目 次

平成27年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について	1
I 小学校国語科の調査問題作成に当たって	5
II 調査問題一覧表	9
A 主として「知識」に関する問題	10
B 主として「活用」に関する問題	11
III 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等）	13
A 主として「知識」に関する問題	13
① 漢字を読んだり書いたりする	14
② 文の構成を理解する	17
③ 聞き方を工夫する	20
④ 説明する文章を書く	23
⑤ 新聞のコラムを読む	25
⑥ 登場人物の相互関係を捉える	28
⑦ 作品募集の案内を読む	31
B 主として「活用」に関する問題	35
① 目的や意図に応じて新聞を書く〈学校新聞〉	36
② 目的に応じ，文章と図とを関係付けて読む〈だれが選ぶ どれを選ぶ〉	44
③ 相手や目的に応じて読み聞かせをする〈とんち話「びょうぶのとらのお話」〉	54
IV 解答用紙（正答（例））	61
国語A	62
国語B	63
V 点字問題（抜粋）	65
VI 拡大文字問題（抜粋）	73

平成 27 年度 全国学力・学習状況調査 解説資料について

◆ 目的

本資料は、平成 27 年度全国学力・学習状況調査の実施後、各教育委員会や学校が速やかに児童の学力や学習の状況、課題等を把握するとともに、それらを踏まえて調査対象学年及び他の学年の児童への学習指導の改善・充実等に取り組む際に役立てることができるよう作成したものです。

◆ 特徴

「教科に関する調査」の各問題について、学習指導の改善・充実を図るための情報を盛り込んでいます。

「教科に関する調査」の各問題について、出題の趣旨、学習指導要領における領域・内容、解答類型、正答や予想される誤答の解説、学習指導の改善・充実を図る際のポイント等を記述しています。

全ての先生が、学習指導の改善・充実に活用できるものを目指して作成しています。

本調査は、第 5 学年までの内容を出題しています。対象学年である第 6 学年だけではなく、全学年を通じた学習指導の改善・充実を図るための参考となります。

各設問の「学習指導要領における領域・内容」には、該当する学年を示していますので、学校全体で組織的・継続的な取組を展開する際に、活用することができます。

調査実施後、すぐに活用できるように作成しています。

調査結果が出る前の段階から、自校での採点を含め、日々の学習指導の改善・充実を図る際に役立てることができるように作成しています。

※調査結果を公表する際、調査結果から見られた課題の有無や誤答の分析、学習指導の改善・充実を図る際のポイントなどを示した「報告書」を作成します。

一人一人のつまずきが見えるように「解答類型」を設けています。

本調査では、一人一人の児童の具体的な解答状況を把握できるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのものとして、「解答類型」を設けています。

正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況（どこでつまずいているのか）に着目して、学習指導の改善・充実を図ることができます。

関連する過去の資料も活用できるように作成しています。

「学習指導に当たって」では、関連する過去の調査の報告書や授業アイデア例などの該当ページも記載しています。

学習指導の改善・充実を図る際は、これらの資料も併せて活用すると一層効果的です。

※過去の報告書・授業アイデア例などは、国立教育政策研究所のウェブサイトで見ることができます。（<http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>）

◆ 本資料の活用にあたって

I 小学校国語科の調査問題作成にあたって

調査問題作成の基本理念、問題作成の枠組みについて解説しています。

II 調査問題一覧表

問題の概要、出題の趣旨、関係する学習指導要領の領域・内容、評価の観点、問題形式を一覧表にまとめています。

Ⅲ 調査問題の解説（出題の趣旨，解説，学習指導に当たって等）

調査問題について，出題の趣旨，解説（解答類型，学習指導要領における領域・内容等），学習指導に当たって等を記述しています。（設問によっては，記述のない項目もあります。）

調査問題を縮小して掲載しています。
※著作権の都合により一部を省略しているものがあります。

1. 出題の趣旨

調査問題ごとに設問の意図，把握しようとする力，場面設定などについて記述しています。

「学習指導要領に示されている言語活動例との関連」については，関連がある場合に記述しています。

2. 解説

趣旨

設問ごとの出題の意図，把握しようとする力などを示しています。

■学習指導要領における領域・内容

調査対象学年及び他の学年の児童への学習指導の改善・充実を図る際に参考となるよう，関係する学習指導要領における領域・内容を示しています。

■評価の観点

設問に関する評価の観点を示しています。

解答類型（下欄の＊1を参照）

一人一人の児童の解答状況を把握することができるよう，設問における解答類型を示しています。

＊1 一人一人の児童の解答状況を把握するために

＜解答類型＞ 一人一人の児童の具体的な解答状況を把握することができるよう，設定する条件などに即して解答を分類，整理するためのものです。正答例，誤答例を示すとともに，必要に応じて「正答について」，「誤答について」の解説を加えていますので，自校での採点を行う際や，一人一人の児童の誤答の状況（どこでつまづいているのか）等に着目した学習指導の改善・充実を図る際に活用することができます。

＜正 答＞ 「◎」…解答として求める条件を全て満たしている正答
「○」…設問の趣旨に即し必要な条件を満たしている正答

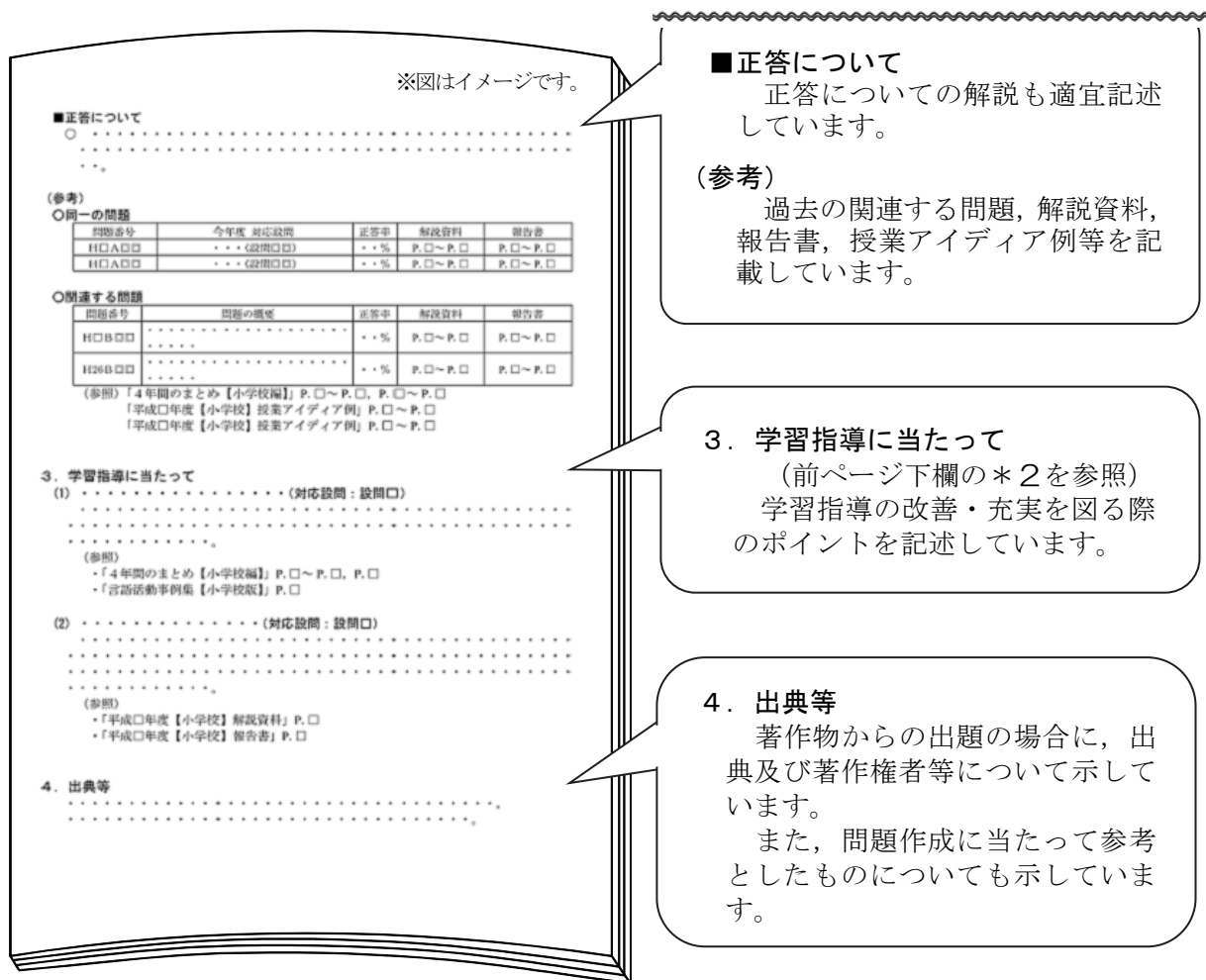
＜類型番号＞ 類型1～8（最大）…正答・予想される誤答（複数の類型が正答となる設問もある）
類型9 …「上記以外の解答」（類型1～8までに含まれない解答）
類型0 …「無解答」（解答の記入のないもの）

＊2 日々の学習指導に生かすために

3. 学習指導に当たって

学習指導の改善・充実を図る際の参考にしてください。また，調査問題に関する領域・内容について，各学年での日々の学習指導に際しても活用することができます。

なお，関連する過去の調査の報告書や授業アイディア例など，これまで作成した資料の該当ページを記載していますので，これらの資料も併せて活用すると，より効果的です。



Ⅳ 解答用紙（正答（例））

調査問題の解答用紙に正答（例）を記述したものを掲載しています。

Ⅴ 点字問題（抜粋）

点字問題の一部を、当該設問の解答類型とともに掲載しています。

Ⅵ 拡大文字問題（抜粋）

拡大文字問題の一部を、当該設問の通常問題及び作成に当たって配慮した点とともに掲載しています。

※本資料では、以下の資料については略称を用いています。

資料	略称
「全国学力・学習状況調査の4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめ～児童生徒への学習指導の改善・充実に向けて～【○学校編】」	「4年間のまとめ【○学校編】」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査 解説資料 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】解説資料」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】報告書」	「平成○年度【○学校】報告書」
「平成○年度 全国学力・学習状況調査【○学校】の結果を踏まえた授業アイデア例」 「平成23年度 全国学力・学習状況調査として実施予定であった調査問題を踏まえた授業アイデア例 ○学校 ○○」	「平成○年度【○学校】授業アイデア例」
「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力等の育成に向けて～【○学校版】」	「言語活動事例集【○学校版】」

I 小学校国語科の調査問題作成に当たって

小学校国語科の調査問題作成に当たって

1. 調査問題作成の基本理念

小学校国語科の調査問題は、「全国的な学力調査の具体的な実施方法等について（報告）」（以下、報告書という。）（平成18年4月 全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議）の問題作成の基本理念に基づいて作成する。

出題範囲・内容については、次の二つの枠組みとする。

主として「知識」に関する問題 （以下、「知識」の問題という。）	身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など
主として「活用」に関する問題 （以下、「活用」の問題という。）	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容など

この二つの枠組みからも明らかなように、「実生活」に立脚する学力が含まれている。これは、学校で学習してきた知識・技能等が、児童生徒を取り巻く様々な生活場面において、活用できるようにすることが求められているからである。

児童生徒にとっての「実生活」は、各教科等の学習に加え、家庭生活や地域での生活を含めたものである。国語の側面から考えると、読書などに親しむ生活（読書生活）、音声や文字で表現する生活（表現生活）などの言語生活を視野に入れて問題を作成する。

なお、報告書では、調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して、土台となる基盤的な事項を具体的に示すとともに、教員の指導改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上などに役立つことを求めていることにも配慮して問題を作成する。

2. 問題作成の枠組み

(1) 領域等と評価の観点

出題の範囲として、「知識」の問題並びに「活用」の問題のいずれも、小学校学習指導要領（平成20年告示）国語の目標及び内容に基づき、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示された指導事項をバランスよく出題する。

調査時期が第6学年の4月であるので、第5学年の終了段階において習得すべき指導内容が出題の範囲となる。

なお、各問題で問う能力に関わる児童の学習状況の評価については、「国語への関心・意欲・態度」、「話す・聞く能力」、「書く能力」、「読む能力」、「言語についての知識・理解・技能」の五つの観点に基づく。

(2) 「知識」の問題の枠組み

「知識」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を焦点化して出題する。調査時間は、20分である。

(3) 「活用」の問題の枠組み

「活用」の問題は、第5学年の終了段階において習得すべき指導事項を、小学校学習指導要領解説国語編に示す言語活動例などを遂行する中で活用できるかどうかをみる。そのため、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」の各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に示された指導事項を複合させて出題する場合がある。調査時間は、40分である。

(4) 問題形式

問題形式は、選択式、短答式、記述式の3種類とする。記述式の問題では、知識・技能等を生かし、相手や目的、意図、場面や状況などに応じて言語を操作したり運用したりする能力をみる。「B 書くこと」の問題に加え、「A 話すこと・聞くこと」、「C 読むこと」

の問題においても記述式を採用する。

各領域における記述式の出題に関する基本的な考え方を次に示す。

■「A 話すこと・聞くこと」における記述

「A 話すこと・聞くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じ、事柄が明確に伝わるように話す順序や構成を工夫し、適切な言葉遣いで話す能力を高めるとともに、話の中心や話し手の意図を捉えながら聞き、質問をしたり、感想や意見を述べたりする能力などを高めることが求められる。

「A 話すこと・聞くこと」の記述式の問題では、スピーチ原稿などのように話す事柄を分かりやすく整理したり、インタビュー記録などのように聞いた事柄やそれらに対する感想、意見などを区別したり、また話合いの中で自分の考えなどをまとめたりして書くような内容を出題する。

■「B 書くこと」における記述

「B 書くこと」の指導においては、相手や目的、意図に応じて、調べたことや考えたことなどについて全体の構成を整えたり、下書きをよりよく推敲したりして書く能力を高めることなどが求められる。その際、礼状や依頼状、意見文、紹介文、記録文、報告文などの様々な文章の種類や形態の特徴を踏まえた上で、書くことの一連のプロセスに即して書くことが重要である。

「B 書くこと」の記述式の問題では、書くことの一連のプロセスの各段階で必要とされる能力を抽出し、前述した様々な文章の種類や形態の特徴に応じて調べたことや考えたことなどを適切に書くような内容を出題する。

■「C 読むこと」における記述

「C 読むこと」の指導においては、目的に応じ、本や文章の内容を的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえて自分の考えを明確にしながら読んだりする能力を高めることが求められる。

「C 読むこと」の記述式の問題では、目的に応じて本や文章を読み、その内容や構成などについて理解したこと、要旨や書き手の意図について解釈したことなどを書くような内容を出題する。また、これまでの読書経験、体験などと関係付けながら、感想や評価などを書くような内容も出題する。

なお、「A 話すこと・聞くこと」、「B 書くこと」、「C 読むこと」のそれぞれの記述式の問題には、具体的な評価の観点を明確にする上で、必要に応じて解答の条件を付す。

◆ 点字問題、拡大文字問題、ルビ付き問題の作成について

本調査では、視覚障害のある児童に配慮した点字問題、拡大文字問題、日本語指導が必要な児童に配慮したルビ付き問題を作成している。

点字問題では、全体を点訳するとともに、点字による図版等の認知に伴う負担等を考慮し、図版等の情報の精査（グラフを表にしたり、記述による説明に替えたりするなど）を行ったり、出題の趣旨を踏まえつつ代替問題を作成したりするなどの配慮を行っている。

拡大文字問題では、対象となる児童の見え方やそれに伴う負担等を考慮し、文字や図版等を拡大するとともに、文字のフォントや図版等の線の太さ・濃さ、コントラスト、レイアウト等を変更するなどの配慮を行っている。

Ⅱ 調查問題一覽表

調査問題一覧表 【小学校国語】

A 主として「知識」に関する問題

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			
				聞話	書	読	国語の特質に言語文化と	関心・語意・態度の	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・言語に理解・技術の	選択	短答	記述
1	一 1	漢字を読む (友人を家に招く)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	一 2	漢字を読む (自分の信意をつらぬく)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	一 3	漢字を読む (全員がすぐに承知した)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	二 1	漢字を書く (シャワーを <u>あ</u> びる)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	二 2	漢字を書く (鳥の <u>す</u> を観察する)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
	二 3	漢字を書く (<u>び</u> ょういんに行く)					5・6 (1)ウ (ア)					○		○	
2	一	文の主語として適切なものを選択する	文の中における主語を捉える				1・2 (1)イ (カ)					○	○		
	二	文の型として適切なものを選択する	文を構成する主語と述語との照応関係を捉える				3・4 (1)イ (キ)					○	○		
3		聞き方の説明として適切なものを選択する	話の内容に対する聞き方を工夫する	5・6 エ					○				○		
4		説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する	具体的な事例を挙げて説明する文章を書く		3・4 ウ					○			○		
5	一	コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する	新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える			5・6 ウ					○		○		
	二	コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く				5・6 ウ					○			○	
6		登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する	登場人物の相互関係を捉える			5・6 エ					○		○		
7		応募のきまりを守っていないものを選択する	作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取る			5・6 イ	3・4 (1)イ (オ)				○	○	○		
合計				1	1	4	9	0	1	1	4	9	7	7	0

調査問題一覧表 【小学校国語】

B 主として「活用」に関する問題

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等					評価の観点					問題形式		
			聞話	書	読	国語の特質に関する事項	伝心・語意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解・技能	言語	選択	短答	記述
1	一 新聞の割り付けとして適切なものを選択する	目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする	○	5・6イ					○				○		
	二 見出しの表現の工夫についての説明として適切なものを選択する	目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける		5・6ウ					○				○		
	三 【中田とよさんへのインタビューの様子】の内容をまとめて書く	目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く		5・6ウ			○		○						○
2	一 ア 「ア」に入る言葉の意味として適切な内容を書き抜く	目的に応じ、中心となる語や文を捉える			3・4イ					○				○	
	一 イ 「イ」に入る言葉として適切な内容を書き抜く				3・4イ					○				○	
	二 【文章】の要旨をまとめて書く	目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉える		5・6ウ	5・6ウ		○		○	○					○
	三 楽器の分担の決め方について、【楽器の分担図】を基にして書く	文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く		5・6エ	5・6ウ		○		○	○					○
3	一 〈絵3〉の場面が始まるまともりとして適切なものを選択する	登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉える			3・4ウ					○			○		
	二 声に出して読むときの工夫とその理由を書く	登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する		5・6ウ	3・4ア		○		○	○					○
合計			0	6	6	0	4	0	6	6	0	3	2	4	

Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

A 主として「知識」に関する問題

国語 A 1 漢字を読んだり書いたりする

- 1
- 次の一と二の問いに答えましょう。
- 一 1 から 3 までの文の — 部の漢字の読みを、ひらがなでいいねいに書きましょう。
- 1 友人を家に 招く。
- 2 自分の 信念 をつらぬく。
- 3 全員がすぐに 承知 した。
- 二 1 から 3 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいいねいに書きましょう。
- 1 シャワーを あびる。
- 2 鳥の す を観察する。
- 3 びょういん に行く。

1. 出題の趣旨

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすることができるかどうかをみる。

漢字を正しく読み、正しく書く力は、文や文章を理解したり表現したりするために必要な知識や技能であり、漢字を含む語彙の拡充を図る上でも重要である。また、国語科の学習のみならず、各教科等の学習の基礎となる力であり、日常生活に欠かせない知識や技能である。

本問では、既習の漢字の定着状況を把握するために、第2学年（「知」）、第3学年（「病」、「院」）、第4学年（「信」、「念」、「浴」、「巢」）、第5学年（「招」、「承」）の配当漢字を取り上げた。ここでは、文の意味を理解した上で、漢字を正しく読んだり書いたりすることが求められる。

なお、設問一 3 と設問二 3 は、過去の調査と同一の問題である。〔参照：（参考）〕

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) ウ 文字に関する事項

(ア) 第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答
1	一 1	1	「まね（く）」と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	一 2	1	「しんねん」と解答しているもの		◎
		2	「信」を「しん」と解答しているが、「念」を「ねん」と解答していないもの		
		3	「信」を「しん」と解答していないが、「念」を「ねん」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	一 3	1	「しょうち」と解答しているもの		◎
		2	「承」を「しょう」と解答しているが、「知」を「ち」と解答していないもの		
		3	「承」を「しょう」と解答していないが、「知」を「ち」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	二 1	1	「浴（びる）」と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	二 2	1	「巢」と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	二 3	1	「病院」と解答しているもの		◎
		2	「びょう」を「病」と解答しているが、「いん」を「院」と解答していないもの		
		3	「びょう」を「病」と解答していないが、「いん」を「院」と解答しているもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

(参考)

○同一の問題

問題番号	今年度 対応設問	正答率	解説資料	報告書
H20A 1一(2)	しょうち（設問1一3）	89.2%	P.14～P.15	P.143～P.145
H21A 1二(1)	病院（設問1二3）	76.3%	P.14～P.15	P.169～P.171

3. 学習指導に当たって

(1) 当該学年までに配当されている漢字を習得する

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読んだり書いたりすること、それらを文や文章の中で適切に使うことができるように指導することが重要である。そのためには、新出漢字を一画一画丁寧に書いて覚えたり、既習の漢字を意図的に復習したりすることができるように計画的に指導することが大切である。また、漢字のもつ意味を考えながら正しく使ったり、同音異義語に注意して使ったりするように指導することも大切である。

(2) 国語辞典や漢字辞典の利用を習慣付ける

漢字を習得し語彙を広げるためには、国語辞典や漢字辞典を日常的に利用して調べる習慣を付けることが重要である。そのためには、辞書の利用について学習する第3学年から意図的・計画的に指導する必要がある。辞書を日常的に活用するために、必要なときにはいつでも辞書が手元にあり、使えるような言語環境をつくっておくことが大切である。また、国語科の学習のみならず、各教科等の調べ学習や日常生活の中でも積極的に辞書を利用し、語句を拡充し、漢字を正しく読んだり書いたりすることができるように指導することが重要である。

国語 A 2 文の構成を理解する

2

次の一と二の問いに答えましょう。

一 1と2の文の主語として適切なものを、アからエまでの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

1 ア 降^ふっていた雨^{アメ}が、急に^イやんだ。
 2 ア ぼく^アの妹^イの、誕生日^ウは、五月^エ二日だ。

二 1から3までの文は、下の【文の型】のア・イ・ウのどの型に当たりますか。適切なものをそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

1 私は、国語の学習で感想文を書いた。

2 頂上^{ちやうしやう}から見える景色は、すばらしい。

3 日本で一番高い山は、富士山だ。

【文の型】

ア 「何は（が）」と「何だ」

イ 「何は（が）」と「どうした」

ウ 「何は（が）」と「どんなだ」

1. 出題の趣旨

文の構成について理解することができるかどうかをみる。

文の構成について理解するために、主語と述語との照応関係を捉えることは重要である。

本問は、平成25年度【小学校】国語A**3**―（正答率36.9%）において、「文が句点によって区切られることの理解」に課題が見られたことを踏まえて出題した。ここでは、主語と述語との照応関係を捉えた上で、文がどのように組み立てられているのかを理解することが求められる。

2. 解説

設問一

趣旨

文の中における主語を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第1学年及び第2学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

（1）イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

（カ） 文の中における主語と述語との関係に注意すること。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
②	一 1 2	1	1にイ, 2にウと解答しているもの	◎
		2	1にイ, 2にアまたはイと解答しているもの	
		3	1にア, 2にアと解答しているもの	
		4	1にエ, 2にエと解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

1の文は、「何が（は）～どうした」という構成である。「何が」に当たる言葉を主語と捉える必要があり、選択肢イ「雨が」が正答である。選択肢ア「降っていた」、ウ「急に」は他の言葉を修飾している言葉であり、選択肢エ「やんだ」は述語である。

2の文は、「何は（が）～何だ」という構成である。「何は」に当たる言葉を主語と捉える必要があり、選択肢ウ「誕生日は」が正答である。選択肢ア「ぼくの」、イ「妹の」は他の言葉を修飾している言葉であり、選択肢エ「五月二日だ」は述語である。

(参考)

○関連する問題

- ・平成25年度【小学校】国語A③―（正答率36.9%）
 （参照）「平成25年度【小学校】解説資料」P.20～P.24
 「平成25年度【小学校】報告書」P.30～P.35
 「平成25年度【小学校】授業アイディア例」P.7～P.8

設問二

趣旨

文を構成する主語と述語との照応関係を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(キ) 修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと。

■評価の観点

言語についての知識・理解・技能

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正 答
②	二 1 2 3	1	1にイ, 2にウ, 3にアと解答しているもの	◎
		2	1にイ, 2にウと解答しているが, 3にアと解答していないもの	
		3	1にイ, 3にアと解答しているが, 2にウと解答していないもの	
		4	2にウ, 3にアと解答しているが, 1にイと解答していないもの	
		5	1にイと解答しているが, 2にウ, 3にアと解答していないもの	
		6	2にウと解答しているが, 1にイ, 3にアと解答していないもの	
		7	3にアと解答しているが, 1にイ, 2にウと解答していないもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

1の文の述語「書いた」は動詞であり、「どうした」に当たるので、選択肢イが正答である。

2の文の述語「すばらしい」は形容詞であり、「どんなだ」に当たるので、選択肢ウが正答である。

3の文の述語「富士山だ」は「名詞＋だ」であり、「何だ」に当たるので、選択肢アが正答である。

3. 学習指導に当たって

○ 文の中における主語と述語との関係に注意する

主語と述語は、文の骨格を成し、明瞭な文を書く上で最も基礎となるものである。主語と述語との照応関係が大切であるということについて、文や文章を理解したり表現したりするときに強く意識できるように指導することが必要である。

具体的には、例文の中から主語と述語とを区別して取り出す活動が考えられる。主語は、「何は（が）」「誰は（が）」などという言葉があてはまること、述語は、動き（「どうした」）や様子（「どんなだ」）、性質（「何だ」）を表す言葉であることなどを理解できるように指導する。その際、例えば、区別したことが視覚的に捉えやすいカードやワークシートを活用したり、グループやペアで理由を添えて説明し合う場を設けたりすることで理解が深まるものと考えられる。

国語 A 3 聞き方を工夫する

- 1 提案の内容と自分たちの様子とを関係付けながら聞いている。
- 2 自分が予想したとおりかどうかを確かめながら聞いている。
- 3 どのようなことをもとにした提案なのかを考えながら聞いている。
- 4 提案に対して反対の立場に立ち、疑問をもちながら聞いている。
- 5 目標の達成につながる提案であるかを評価しながら聞いている。

3

次は、代表委員会に出された【美化委員会からの提案の一部】と、それを聞いている六年生代表の【青木さんの心の中の声】です。A・B・Cは、どのような聞き方をしていますか。それらについて説明しているものを、あとの1から5までのの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

【美化委員会からの提案の一部】

最近、校内のよれが気になります。みなさんは、そうじに一生けん命取り組んでいますか。中には、おしゃべりばかりしている人や取りかかりがおそい人もいます。

そこで美化委員会から、来月の全校美化通間において取り組むことを、次のように提案します。

それは、(さ) (し) (す) (せ) (そ) を含い言葉に取り組むことです。

(さ) ……さっと取りかかり

(し) ……しずかに

(す) ……すみずみまで

(せ) ……せいっぱい

(そ) ……そうじをしよう

これらを含い言葉に、みんなで力を合わせ、きれいな学校にしていきたいでしょう。

（提案が続く）

【青木さんの心の中の声】

A

そうじに対する取り組みの問題点などをもとに、提案しているんだな。

B

六年生は、「さっと取りかかり」と「すみずみまで」については、あまりできていないような気がするわ。

C

低学年にも分かりやすいな。これなら、そうじのときに合い言葉として声をかけ合うことになるだろうから、きつと効果が上がるわ。

1. 出題の趣旨

話の内容に対する聞き方を工夫することができるかどうかをみる。

相手の話を聞く際、話し手の意図を明確にしたり、自分の考えと比べたりするなど、聞き方を工夫することは重要である。

本問では、代表委員会に出された提案を聞く場面を設定した。ここでは、聞き手がどのように聞き方を工夫しているかを捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 A 話すこと・聞くこと

エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。

■評価の観点

話す・聞く能力

2. 解説

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答
③	A	1	Aに3, Bに1, Cに5と解答しているもの		◎
	B	2	Aに3, Bに1と解答しているが, Cに5と解答していないもの		
	C	3	Aに3, Cに5と解答しているが, Bに1と解答していないもの		
		4	Bに1, Cに5と解答しているが, Aに3と解答していないもの		
		5	Aに3と解答しているが, Bに1, Cに5と解答していないもの		
		6	Bに1と解答しているが, Aに3, Cに5と解答していないもの		
		7	Cに5と解答しているが, Aに3, Bに1と解答していないもの		
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

■正答について

Aは, 提案の理由に着目する聞き方である。これに該当するのは, 選択肢3である。提案がどのような問題に基づくものなのかを考えながら聞いていることを捉える必要がある。

Bは, 提案の内容と自分たちの様子とを重ね合わせる聞き方である。これに該当するのは, 選択肢1である。提案の具体的な内容の一つ一つと六年生の様子とを関係付けながら聞いていることを捉える必要がある。

Cは, 提案の効果や妥当性を判断する聞き方である。これに該当するのは, 選択肢5である。提案が目的の達成につながるであろうことについて, 理由を挙げながら評価していることを捉える必要がある。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H24A②	話し手の話の内容を聞きながら書いた質問について, その狙いを適切に説明したものを選択する	65.5%	P.14～P.16	P.124～P.126
H25B①二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	48.8%	P.36～P.41	P.50～P.55
H26B①二	林さん⑤の質問の狙いとして適切なものを選択する	60.3%	P.36～P.42	P.48～P.57

(参照) 「平成24年度【小学校】授業アイディア例」P.1

「平成25年度【小学校】授業アイディア例」P.9～P.10

「平成26年度【小学校】授業アイディア例」P.9～P.10

3. 学習指導に当たって

○ 目的や意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる

相手の話を聞く際は、自分や自分たちに伝えたいことは何か、共に考えたいことは何かなど、相手の話の目的や意図を捉えながら内容を十分に聞き取ることができるように指導することが重要である。また、聞き取った内容について、自分の考えと比べて共通点や相違点に分類したり、関連して考えたことなどを整理したりすることによって、相手の目的や意図を捉えつつ、自分の考えをまとめることができるように指導することが大切である。

具体的には、必要に応じて、メモを取りながら整理して聞いたり、取ったメモの内容を整理して相互関係を考えたりするような指導が考えられる。その際、例えば、次のような点に留意することが大切である。

〈メモの内容〉

- ・話のテーマ、テーマを設定した理由
- ・話し手の立場や結論
- ・結論に結び付く理由や事例
- ・話の内容に対する自分の考え（質問や感想、意見）

〈メモの分量〉

- ・短くまとめること（箇条書きやキーワードなどの単語のみを書くなど）
- ・図や表などを効果的に用いること

メモを取ったり活用したりすることは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても行われることである。その際にもこれらの点を意識するように促すことが必要である。

国語 A 4 説明する文章を書く

4

次は、島田さんが「一汁三菜のよさについて書いた『説明の文章の一部』」です。* 部では、どのようなふうをして書いていますか。そのくふうを説明したものとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【説明の文章の一部】

昔から、日本の食事には「一汁三菜」というこんだてが取り入れられてきました。「一汁三菜」とは、主食のご飯に、汁物と三種類のおかずを組み合わせるものです。組み合わせることで、一度にいろいろな栄養素をとることができます。

このことについて、下のわが家の昨夜のこんだてを例にして説明します。主食のご飯からは主に炭水化物を、とうふとわかめが入ったみそ汁からは、たんぱく質と無機質をとることができます。さばの塩焼きからは主にたんぱく質を、かぼちやのもののときゅうりのすものからは、ビタミンをとることができます。

（文章が続く）



（わが家の昨夜のこんだて）

- 1 自分の考えを強調するために、複数の事がらに共通する点をまとめている。
- 2 読み手に自分のこととしてとらえてもらうために、疑問を投げかけている。
- 3 自分が伝えたいことをくわしく示すために、具体的な事例を取り上げている。
- 4 読み手を説得するために、表やグラフを用いながら自分の考えを書いている。

1. 出題の趣旨

具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことができるかどうかをみる。

説明的な文章では、説明する内容を分かりやすく伝えるために、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や具体的な事例を挙げて記述することが重要である。

本問では、和食の「一汁三菜」のよさについて説明する文章を書く場面を設定した。ここでは、「一汁三菜」という献立が一度にいろいろな栄養素をとることができるというよさを分かりやすく伝えるために、具体的な事例を挙げて書いていることを理解することが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 B 書くこと

ウ 書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 B 書くこと

ウ 収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。

■評価の観点

書く能力

2. 解説

解答類型

問題番号	解答類型	正答
4	1 1 と解答しているもの	
	2 2 と解答しているもの	
	3 3 と解答しているもの	◎
	4 4 と解答しているもの	
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

■正答について

【説明の文章の一部】において、書き手である島田さんが書こうとすることの中心は、「一汁三菜」という献立が一度にいろいろな栄養素をとることができるという良さである。そのよさについて、【説明の文章の一部】の第一段落で、「一度にいろいろな栄養素をとることができる」と書いている。その上で、第二段落において、よさを分かりやすく伝えるために、島田さんの家の昨夜の献立を例に挙げながら、栄養素の名前を具体的に示していることを捉える必要がある。これらの書き方を説明したのは、選択肢 **3** である。

3. 学習指導に当たって

○ 具体的な事例を挙げて、分かりやすく説明する

伝えたいことを相手に分かりやすく説明するためには、伝えたいことの中心を明確にし、その内容に合った具体的な事例を挙げて書くことが効果的であることを理解できるように指導することが重要である。具体的な事例としては、例えば、伝えたいことに結び付く自分の経験や学習した事柄などが考えられる。それらを説明する際は、「例えば～」「例を挙げると～」「～などがそれに当たる。」「～を例に挙げて説明する。」などの表現を例示して、分かりやすい説明の仕方を指導することも大切である。


(参照)「言語活動事例集【小学校版】」P.41～P.42

国語 A 5 新聞のコラムを読む

5

次は、読書のことについて書かれた新聞の「コラム」(筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事)です。この「コラム」は、全体の内容が1から5までのまじりに分かれていますが、これによく読んで、あとの「二」の問いに答えましょう。

【コラム】 記事の中の▼は、まじりを表す印です。



1 ▼四月二十三日 ものは、その時その時によつて読みの味わいがちがう」とは「子ども読書の日」世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子が心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書という

▼1 四月二十三日 ものは、その時その時によつて読みの味わいがちがう」とは「子ども読書の日」世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。▼2 子供のころ、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子が心がおどった。▼3 ある作家の言葉に、「読書という

※1「描写」…かき表すこと
※2「童心」…子供の心

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまじりを、「コラム」の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠(こんきょ)付けるためにある言葉を用いています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点(。)や読点(、)、かぎ(「」)は字数にふくみません。

※解答は、解答用紙に書きましょう。

--	--	--	--

1. 出題の趣旨

新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉えることができるかどうかをみる。

本や文章を読む際、書き手が述べている内容や要旨、構成や記述の仕方などを捉え、それらに対する自分の考えを明確にもつことは重要である。

本問では、新聞のコラムを読む場面を設定した。ここでは、筆者の意図や思考を想定しながら文章全体の構成や表現の工夫を捉えることが求められる。

設問二については、平成25年度【小学校】国語B2二(正答率26.5%)において、「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用したり複数の内容を関係付けたりしながら、自分の考えを書くこと」、また、平成26年度【小学校】国語B1三(正答率28.4%)において、「相手の発言を引用して質問や意見を述べること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

なお、これまでメディアとして新聞を取り上げ、報道記事や投書を出題したが、コラムを取り上げたのは今回が初めてである。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと。

■評価の観点

読む能力

2. 解説

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正答	
⑤	一	1	2・4と解答しているもの（順不同）			◎
		2	2と解答しているが、4と解答していないもの			
		3	4と解答しているが、2と解答していないもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			
	二	1	「読書という」と解答しているもの			◎
		2	「ある作家の」と解答しているもの			
		3	「子ども読書」や「世界本の日」、あるいは「ゼロ弾きの」と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			

■正答について

設問一については、筆者の読書体験として、2のまとまりに子供の頃に読んだ宮沢賢治『ゼロ弾きのゴーシュ』の感想、そして4のまとまりに同じく『ゼロ弾きのゴーシュ』の再読を通した新しい発見が書かれていることを捉える必要がある。2のまとまりの中の「子供のころ」や、4のまとまりの中の「先日、（中略）再び読んだ」などの言葉に着目する必要がある。

1のまとまりは、「子ども読書の日」についての概説である。3のまとまりは、ある作家の言葉を引用しながら筆者の考えを述べている。5のまとまりは、筆者の思いや考えを述べており、筆者の読書体験は書かれていない。

設問二については、3のまとまりに「 」を使った引用箇所があることを捉える必要がある。ある作家による「読書というものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」という言葉に着目する必要がある。

（参考）

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H25B②二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	26.5%	P.42～P.49	P.56～P.64
H26B①三	大野さん②の発言に対し、手書きの立場から質問か意見を書く	28.4%	P.36～P.42	P.48～P.57

（参照）「平成25年度【小学校】授業アイディア例」P.11～P.12

「平成26年度【小学校】授業アイディア例」P.9～P.10

3. 学習指導に当たって

○ 記事の書き方に注意して読む

新聞のコラムは、客観的な事実を伝える報道記事とは異なる特徴をもつ。日常の出来事や社会的な話題の中から、筆者が見聞きしたことや経験したことなどを題材として取り上げ、自分なりの視点から感想や意見を述べた文章である。これは、随筆や論説文の形態の特徴と重なるものである。

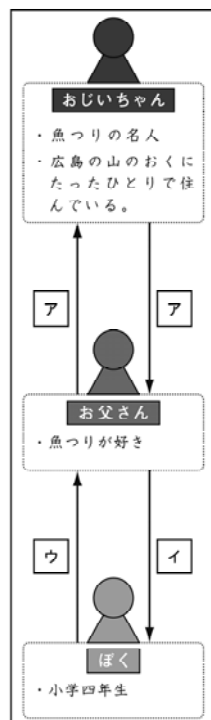
コラムの特徴を捉えるためには、例えば、実際の新聞の中からコラムを集めて多読し、どのような話題が取り上げられているのか、それに対して筆者がどのような考えをもっているのかを比べ読みするような指導が考えられる。その際、様々な表現の工夫に着目することが重要である。

表現の工夫として、例えば、次のようなものがある。

- ・書き出し（書籍、映画、テレビなどの多彩な話題を取り上げ、本題につなげる）
- ・引用（書物の一節、格言やことわざ、他者の言葉を用いて、自分の考えを補説する）
- ・事実（現実の事象や出来事、科学的事実、社会的・歴史的事実、自身の直接体験や間接体験などを具体的に取り上げる）
- ・意見（推論、断定などに書き分ける）
- ・その他（ユーモア、読者への問いかけなど）

国語 A 6 登場人物の相互関係を捉える

- 1 魚つりについて教えてやりたい。
- 2 いっしょに魚つりをしたい。
- 3 魚つりについて教えてもらいたい。
- 4 学校でアユの友づりをじまんしてみたい。
- 5 魚つりには興味がないのでえんりょしたい。



【人物関係図】
 ア、イ、ウは、矢印が向かう相手への思いや考えを表しています。

※1 「アユ」：川魚の一種。
 ※2 「友づり」：アユのつり方の一つ。
 (問い) 次は、【物語の一部】をもとにした【人物関係図】です。図の中のア・イ・ウの中に入る内容として最も適切なものを、あとの1から5までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。ただし、同じ番号は一度しか使いません。

(阿部夏丸『オオサンショウウオの夏』による)

(阿部夏丸『オオサンショウウオの夏』による)

【物語の一部】

■物語のこれまでのあらすじ
 主人公のぼくは、夏休みに広島のおじいちゃんの家に行くために、お父さんとふたりで車に乗って出かけました。

6 次は、『オオサンショウウオの夏』という題名の【物語の一部】です。これをよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

1. 出題の趣旨

登場人物の相互関係を捉えることができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「物語に登場する人物についての描写や心情、人物相互の関係を捉えること」に課題があると指摘していること、また、平成26年度【小学校】国語 A 5 (正答率65.5%)において、「物語の登場人物の相互関係を捉えること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

物語を読む際、登場人物の相互関係から人物像やその役割を押さえたり、行動や会話、情景などの描写から心情を捉えたりすることは重要である。

本問では、阿部夏丸が書いた『オオサンショウウオの夏』の一部を読み、三人の登場人物の相互関係を人物関係図を用いて捉える場面を設定した。ここでは、【物語の一部】が主人公のぼくの視点で描かれた一人称視点であることを理解した上で、特に会話描写に着目して、前後の文脈から登場人物の相互関係を捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。

■評価の観点

読む能力

2. 解説

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
⑥	ア イ ウ	1	アに2, イに1, ウに5と解答しているもの	◎
		2	アに2, イに1と解答しているが, ウに5と解答していないもの	
		3	アに2, ウに5と解答しているが, イに1と解答していないもの	
		4	イに1, ウに5と解答しているが, アに2と解答していないもの	
		5	アに2と解答しているが, イに1, ウに5と解答していないもの	
		6	イに1と解答しているが, アに2, ウに5と解答していないもの	
		7	ウに5と解答しているが, アに2, イに1と解答していないもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

アは、おじいちゃんとお父さんの二人の関係である。「お父さんとおじいちゃんのふたりがいっしょにつりをしたいからなんだ」という叙述などから、選択肢2「いっしょに魚つりをしたい。」という二人の心情を捉える必要がある。

イは、お父さんのぼくに対する心情である。「いっしょにつりをやってみないか?」「名人がふたりで教えてやろうってんだ」などの叙述を踏まえると、お父さんの心情は、選択肢1「魚つりについて教えてやりたい。」である。

ウは、ぼくのお父さんに対する心情である。「魚つりに興味などなかった」「えんりよしとくよ」などの叙述を踏まえると、ぼくの心情は、選択肢5「魚つりには興味がないのでえんりよしたい。」である。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H22A 3	物語の登場人物の関係をとらえて書く	65.3%	P.16～P.17	P.102～P.104
H26A 5	物語の一部に入る適切な人物の名前を書く	65.5%	P.24～P.26	P.35～P.37

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P.8～P.9, P.74～P.75, P.104

「平成22年度【小学校】授業アイディア例」P.1

「平成26年度【小学校】授業アイディア例」P.8

3. 学習指導に当たって

○ 登場人物の相互関係を構造的に捉える

物語を読む際は、登場人物の相互関係を構造的に捉えることが重要である。そのためには、物語の中の様々な描写から、一人一人の登場人物の行動や性格、場面の展開に即して変化する心情を捉えることができるように指導することが大切である。また、登場人物の相互関係からそれぞれの人物像や役割を押さえることによって、内面にある深い心情も合わせて想像するなど、全体を構造的に捉えることができるように指導することも大切である。

具体的には、物語の登場人物を人物関係図に表すことが考えられる。まず、物語の中の中心となる人物を押さえる。次に、叙述を基に登場人物同士の関係を捉え、関係図に表していく。その際、登場人物を矢印などでつなぎ、行動や会話といった描写などを手掛かりにして、一人一人の登場人物の行動や性格、心情の変化、相手への思いや考えなどを書き込んでいく方法などが考えられる。各自が作成した関係図は、それぞれの捉え方や根拠とした叙述が妥当であるかどうかなどをグループや全体で検討し合うようにすることが考えられる。

4. 出典等

- ・ 著者 阿部夏丸 画家 かみやしん『きらきらジュニアライブシリーズ オオサンショウウオの夏』（2000年11月 株式会社佼成出版社）による。

国語 A 7 作品募集の案内を読む

- 1 絵の具と色えんぴつを使ってかいた絵を応募する。
- 2 夏休みに行われた花火大会の様子を絵にかいて応募する。
- 3 かいた絵を二〇一五年九月十八日までに届くように送る。
- 4 夏祭りの絵と虫取りをしたときの絵を二枚かいて両方送る。

心に残る 夏の風景

絵画コンクール 2015

夏祭りや自然体験など、あなたの心に残る夏の風景を絵にかいて送ってください。

◆応募のきまり

対象・部門

* 小学校 1・2・3 年生部門
* 小学校 4・5・6 年生部門

作品

○ 未発表作品で、出品は一人 1 点に限ります。
○ 四つ切サイズ (380 × 540 mm) の画用紙を使用してください。
○ 絵の具、クレヨンなどを自由に使用してください。
○ 作品の裏面に、作品の題名、学校名、学年、氏名、自宅の住所を記入してください。
○ 作品は、お返しできません。

しめ切り

2015 年 (平成 27 年) 9 月 18 日 (金) 必着

◆入賞者発表

2015 年 (平成 27 年) 10 月末日までに入賞した人に郵送で連絡します。

【作品募集の案内の一部】

7 六年生の星野さんは、次の「作品募集の案内の一部」を読んで、絵を応募することにした。「◆応募のきまり」を守っていないものを、あとの 1 から 4 までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1. 出題の趣旨

作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる。

日常生活において、募集案内やちらし、広告、ポスターといった広く一般に情報を伝達する機能をもつ文章や資料から、必要な情報を読み取ることは重要である。

本問では、作品募集の案内の中から、応募のきまりを守っていないものを選択する場面を設定した。ここでは、作品を応募する際に求められるきまりや注意すべき点を正確に読み取ることが求められる。

なお、様々なメディアの中から作品募集の案内を取り上げたのは、今回が初めてである。

■学習指導要領における領域・内容

〔第 5 学年及び第 6 学年〕 C 読むこと

イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。

〔第 3 学年及び第 4 学年〕 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

(1) イ 言葉の特徴やきまりに関する事項

(オ) 表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上で類別があることを理解すること。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。

■評価の観点

読む能力

言語についての知識・理解・技能

2. 解説

解答類型

問題番号	解 答 類 型	正答
7	1 1 と解答しているもの	
	2 2 と解答しているもの	
	3 3 と解答しているもの	
	4 4 と解答しているもの	◎
	9 上記以外の解答	
	0 無解答	

■正答について

【作品募集の案内の一部】の「作品」についての規定や注意点の中に、「未発表作品で、出品は一人1点に限ります」と説明されている内容を捉える必要がある。選択肢4の「二枚かいて両方送る」という内容は、「◆応募のきまり」を守っていない。

選択肢1は、「作品」の中の「絵の具、クレヨンなどを自由に使ってください」という内容に合っている。

選択肢2は、「夏祭りや自然体験など、あなたの心に残る夏の風景」という絵画のテーマについて説明されている内容に合っている。

選択肢3は、「しめ切り」について説明されている、「2015年（平成27年）9月18日（金）必着」という内容に合っている。

（参考）

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H19B4ー	広告の情報を読み取って、正しい内容を選択する	63.0%	P.48～P.50	P.124～P.126
H20B3ー	「図書館だより」から、6年生が読書相談をすることができる曜日と時間帯を書く	39.4%	P.44～P.48	P.169～P.173
H22B4	三つの時計の中から、条件に合ったものを選び、それを選んだ理由を書く	65.7%	P.48～P.50	P.136～P.139

（参照）「4年間のまとめ【小学校編】」P.10～P.11, P.78～P.79, P.82～P.86, P.106

「平成22年度【小学校】授業アイディア例」P.5

3. 学習指導に当たって

(1) 書かれている情報を的確に捉える

様々なメディアから情報を得て、それらを利用していくためには、書かれている情報を的確に捉える必要がある。そのためには、目的に応じた効果的な読み方を身に付けることができるように指導することが大切である。効果的な読み方には、比べ読みのほか、速読、本や文章全体を概観しながら拾い読みする摘読などがある。これらの読み方を目的に応じて選択することが重要である。

募集案内やポスターなどの文章や資料から情報を的確に捉えるためには、全体の構成や見出しなどに着目し、文章や資料全体の書き方の特徴を捉えた上で、必要な情報を読み取るように指導する必要がある。

具体的には、例えば、構成の異なる複数の募集案内やポスターなどを提示し、全体の構成や見出し、項目の順序性などに着目して比べ読みする。その際、読み手の立場からそれぞれの工夫をはじめ、十分な理解が得られない点なども見付け出すように指導することが考えられる。

これらの学習を通して、書かれている情報を的確に捉えることだけではなく、相手に情報を的確に伝えることにもつなげることができるものと考えられる。

(2) 語句の意味を的確に捉える

募集案内やポスターなどでは、応募に必要な条件を示す語句が使われることがあり、それらの語句の意味を的確に捉えていくことが必要である。条件を示す語句としては、例えば、期日を示す「～までに」や「必着」、範囲を示す「以上」や「未満」などがある。これらの語句は、辞書を用いて意味を確かめたり、具体的な場面と結び付けて文や文章の中で使ったりしながら習得できるように指導することが大切である。その際、「～してください」「～に限ります」「～できません」などの文末表現についても正確に理解できるように指導することが大切である。

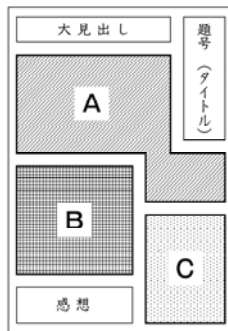
Ⅲ 調査問題の解説

(出題の趣旨，解説，解答類型，学習指導に当たって等)

B 主として「活用」に関する問題

国語 B 1

4	3	2	1
A	A	A	A
紹介と案内	出来事の報告	調査の報告	出来事の報告
B	B	B	B
調査の報告	調査の報告	出来事の報告	紹介と案内
C	C	C	C
出来事の報告	紹介と案内	紹介と案内	調査の報告



【わり付け】

木村さんたちは、次のような【わり付け】にして、【ふれあい新聞（六月号）】を制作しました。
A・B・Cにはそれぞれのよう内容が書かれていますか。その組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

交流で広がる 心の輪

ふれあい

6月号
(平成27年)
 五月30日
 東小中学校
 新聞委員会

五月二十一日、又、東小中学校において、
 地味なおおじいさんやおばあさんとふれ
 あう交流会を開きました。

六年生と連呼
 をもんだんがでました。 交流を
 “五”けん”
 “あ”たりり”のコーナーに参
 加した一あ生のコーナーでは
 のこコナーは、「はさき」の歌で
 に分かれてやなぐし形であそ
 びました。
 おおじいさん
 やから、遊び方
 を上手に教えま
 した。そのほ



あやとりでほうきをうつったよ

子どものころ 好きだった遊び

- ・おにごっこ
- ・かくれんぼ
- ・あやとり
- ・ゴムとび
- ・お手玉
- ・ごんまり
- ・けん玉

など



子どもの遊び 昔は？

交流会に参加して多くの
 子どもら五十人ほどの
 子どもたちといっしょに体
 だいたいの好きな遊びを
 たのしみながらやなぐし
 とこり、左のような絵が
 たくさん（資料：本田）

おおじいさんやおばあ
 さんに「はさき」の歌を
 教わりました。

【編集後記】
 多くのお
 じいさん
 おおばあ
 さんが交
 流会にお
 参加してく
 かったです。
 昔の遊びをしるがら
 いろいろな知識をつか
 がうことができたことを
 ました。読んでいただく
 （水村）

ア

心
の
輪
が
広
が
つ
た
日
でした。（木村：三七）

地いきの方々とふれあう 行事や活動の予定
7月11日（土） 夏小バザー
9月26日（土） 夏小運動会
10月16日（金） ふれあい読書会
11月21日（土） 夏小祭り

行事の日が近くになりました。ちらしをお配り
しています。
 地いきのみなさん、ぜひ
ご参加ください。

【ふれあい新聞（六月号）】

東小学校の新聞委員会の木村さんたちは、月ごとの学校の様子を新聞にまとめて地域の方々に伝えていきます。木村さんたちは、次の「ふれあい新聞（六月号）」を書いていきます。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

①の大見出しは、どのような効果をねらって、どのように表現の仕方をくふうしていますか。その説明として最も適切なものを、あとの1から3までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- ① 交流で広がる 心の輪
- ② お手玉 あやとり コツつかむ
- ③ 昔遊びをしてみませんか



① 交流で広がる 心の輪

- 1 伝えたいことの中点を明確にするために、強調したい言葉を最後に置いている
- 2 読み手の興味を引くために、普通遊びをすすめる言い方で呼びかけている。
- 3 実際に活動した内容を具体的に示すために、遊びの種類を複数並べている。

三「ふれあい新聞（八月号）」の「ア」の中には、あやとりのコーナーに参加した中田とよさんの感想をのせることにしました。次の「中田とよさんへのインタビューの様子」の内容をまとめて書きます。あとの条件に合わせて書きましょう。

【中田とよさんへのインタビューの様子】

（話した内容）

あやりのコーナーに参加してよかったわ。
それはね、一年生のみんなに様々な形を教えであ
げたら喜んでくれたからなの。
みなさんも準備が大変だったことでしょうね。
町で会ったときにはいつでも声をかけてください。
今度の室内も楽しみにして待っていますね。



中田とよさん

〈表情や声の調子〉

- ・目を細めている
- ・明るい声

〈条件〉

- *——部についての理由が分かる言葉を、「話した内容」の中から、「」を使って取り出し、その言葉と「表情や声の調子」の中の内容を合わせて、一文で書くこと。
- 書き出しに続けて、四十字以上、七十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

[illegible]

40字

1. 出題の趣旨

目的や意図に応じ、新聞の割り付けをしたり、見出しや記事を書いたりすることができるかどうかをみる。

目的や意図に応じ、文章全体の構成を工夫したり、必要な内容を整理して書いたりすることは、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても重要である。その中でも、新聞は、限られた紙面の中で、目的や意図に応じ、全体の構成や見出し、記事を工夫して書くことが求められる。新聞を書くことは、必要な内容を整理し、相手に分かりやすく表現する力を高める活動として有効な手段の一つである。

本問では、新聞委員会の児童が、地域の方々に月ごとの学校の様子を伝えるために、地域の方々との交流会の様子をまとめた学校新聞を書く場面を設定した。ここでは、目的や意図に応じ、割り付けをすること、読み手の関心を引く見出しを付けること、インタビューの様子を踏まえた記事を書くことが求められる。

設問三については、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「調べて分かった事実に対する自分の考えを、理由や根拠を明確にして書くこと」に課題があると指摘していること、また、平成25年度【小学校】国語B²（正答率26.5%）、³（正答率17.9%）において、「目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用したり複数の内容を関係付けたりしながら、自分の考えを書くこと」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第3学年及び第4学年〕 B 書くこと

イ 疑問に思ったことを調べて、報告する文章を書いたり、学級新聞などに表したりすること。

2. 解説

設問一

趣旨

目的や意図に応じ、新聞の割り付けをすることができるかどうかをみる。

本設問では、新聞に割り付けられた内容を区別する場面を設定した。ここでは、新聞の各部分に割り付けられた文章の種類や形態の違いを捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型			正 答	
1	－	1	1 と解答しているもの			
		2	2 と解答しているもの			
		3	3 と解答しているもの			◎
		4	4 と解答しているもの			
		9	上記以外の解答			
		0	無解答			

■正答について

【ふれあい新聞（六月号）】に割り付けられた内容が、全体として「出来事の報告」「調査の報告」「紹介と案内」の三つで構成されていることを捉える必要がある。

新聞の中の太見出し「交流で広がる 心の輪」の記事では、5月に行われた交流会の様子を、事実に加えて参加者にインタビューした内容も交えて書いている。これは、「出来事の報告」に当たる。

「子どもの遊び 昔は？」の記事では、参加者を対象にして、子供の頃好きだった遊びを聞き取り、その結果をまとめて書いている。これは、「調査の報告」に当たる。

「地いきの方々とふれあう 行事や活動の予定」の記事の内容は、「紹介と案内」に当たる。

設問二

趣旨

目的や意図に応じ、記事に見出しを付けることができるかどうかをみる。

本設問では、新聞のトップ記事の内容について、読み手の関心を引き付けるような見出しを付ける場面を設定した。ここでは、記事の内容に関わる見出しの候補の中から、「交流で広がる 心の輪」を選んだ理由について、書き手が狙おうとする効果と表現の仕方を合わせて捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想，意見などとを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

書く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正 答
①	二	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

【実際の大見出し】である①「交流で広がる 心の輪」は、この交流により自分たちと地域の方々との心の輪が広がったという考えを伝えるために、強調したい言葉の順番を換えていることを捉える必要がある。これを説明したものは選択肢 1 である。

②「お手玉 あやとり コツつかむ」の見出しについての説明は、選択肢 3 である。

③「昔遊びをしてみませんか」の見出しについての説明は、選択肢 2 である。

選択肢 2, 3 も見出しの付け方として成立しているが、【実際の大見出し】の「交流で広がる 心の輪」という見出しの説明にはあてはまらない。

設問三

趣旨

目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことができるかどうかをみる。

本設問では、地域の方々との交流会の様子がより読み手に伝わるように、記事の中に参加者の声を取り上げて書く場面を設定した。ここでは、中田さんの「あやとりのコーナーに参加してよかったわ。」という感想の理由を、【中田とよさんへのインタビューの様子】の中の〈話した内容〉から取り出した上で、〈表情や声の調子〉と関係付けながら書くことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第 5 学年及び第 6 学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想，意見などを区別するとともに，目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

書く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型	正答
1	三	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 以下の内容を合わせて書いている。</p> <p>a 「(一年生のみんなに) 様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」</p> <p>b 目を細めながら明るい声</p> <p>* 「目を細めている」, 「明るい声」のいずれか一方のみを取り上げているものも含む。</p> <p>② 一文で書いている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて, 40字以上, 70字以内で書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (「また, 参加された中田とよさんは、」以下, この書き出しの言葉は省略する。)「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、目を細めながら明るい声で話してくださいました。(69字) ・ 「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、目を細めながら話してくださいました。(64字) ・ 「様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、明るい声で話してくださいました。(54字) 	
		1 条件①a, bの両方と, 条件②, ③を満たしているもの	◎
		2 条件①a, bの両方と, 条件②は満たしているが, 条件③は満たしていないもの	
		3 条件①a, bの両方を満たしているが, 条件②は満たしていないもの	
		<p>* 条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 「様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、話してくださいました。明るい声でした。(57字)</p> <p>→上記の例は, 一文で書いていない。</p>	
		4 条件① a または b のいずれか一方を満たしているもの	
		<p>* 条件②, ③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例 1)</p> <p>○ 「みなさんも準備が大変だったことでしょうね」と、目を細めながら話してくださいました。(58字)</p> <p>→上記の例は, 「(一年生のみんなに) 様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」という内容を取り上げていない。</p> <p>(例 2)</p> <p>○ 「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、話してくださいました。(57字)</p> <p>→上記の例は, 「目を細めている」, 「明るい声」のどちらの内容も取り上げていない。</p>	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	

■正答について

中田さんへのインタビューを基に、中田さんの「あやとりのコーナーに参加してよかったわ。」という感想の理由が分かる言葉を捉える必要がある。その言葉は、〈話した内容〉の――部直後の「それはね、一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれたからなの」である。

この言葉に合わせる〈表情や声の調子〉の中の内容については、「目を細めている」と「明るい声」の二つを書くことが望ましいが、いずれか一方のみを取り上げた場合でも正答の条件①bを満たしていることとする。

〈話した内容〉と〈表情や声の調子〉を合わせて一文にまとめ、書き出しの言葉に続けて、指定された字数の範囲で書く必要がある。

(参考)

○関連する問題

問題番号	問題の概要	正答率	解説資料	報告書
H21B ①二	報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	17.8%	P. 34～P. 37	P. 194～P. 198
H25B ②二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	26.5%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64
H25B ②三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	17.9%	P. 42～P. 49	P. 56～P. 64

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 6～P. 7, P. 64～P. 65, P. 100

「平成21年度【小学校】授業アイディア例」P. 2

「平成25年度【小学校】授業アイディア例」P. 11～P. 12

3. 学習指導に当たって

(1) 新聞の特徴を理解し、目的や意図に応じて紙面全体を構成する (対応設問：設問一)

新聞を書くためには、新聞の特徴に基づいて割り付けをしたり、見出しを付けたり、記事を書いたりすることが重要である。そのためには、新聞を書く目的や意図を明確にもつことができるような指導をすることが大切である。

具体的には、まず、新聞には複数の種類の記事が掲載されていること、一番知らせたい記事が最初に大きく取り上げられていること、記事一つ一つに見出しが付けられていること、記事の中には逆三角形と呼ばれる構成になっているものがあることなどの特徴を理解する必要がある。その上で、誰が何のために発行するのか、どのような情報を伝えたいのか、読み手はどのような情報を望んでいるのかなど、新聞を書く目的や意図を明確にし、紙面全体の構成を考えることが重要である。その際、編集会議を効果的に取り入れ、読み手の関心を引き付けるような割り付けや見出しになっているか、目的や意図に応じた分かりやすい記事になっているか、読み手の理解を補助するための写真や図、表などが効果的に取り入れられているかなどの観点を設けて話し合うような指導をすることも大切である。

(2) 目的や意図に応じ、記事に見出しを付ける

(対応設問：設問二)

見出しは、事実だけを伝える場合のみならず、感想や意見を添えて端的に伝える場合がある。見出しを付けるためには、伝えたいことの中心を明確にした上で、様々な表現の仕方とその効果について検討する必要がある。

具体的には、同じ題材を取り扱った様々な記事を集め、それぞれの見出しを比べるなどして、それらの効果について話し合うような指導が考えられる。さらに、書き手の意図を推論しながら、自分なりに考えた見出しを発表し合い、互いの感想や意見を交流するような指導も考えられる。

(3) 目的や意図に応じて取材した事柄の記事として書く

(対応設問：設問三)

取材した事柄の記事として書く際、事実と感想、意見などとを区別する必要がある。また、目的や意図に応じ、伝えたい内容を詳しく書いたり、それ以外の内容を簡単にまとめて書いたりすることも大切である。

具体的には、読み手に伝えたいことの中心を明確にし、自分で調べた内容や、関係者に取材した事柄の中から取捨選択するような指導が考えられる。聞いた内容や分かったこと（事実）だけではなく、取材した相手から受ける印象や自分が感じたこと、考えたこと（感想や意見）などもメモを取っておくことが有効である。メモを用いて記事を書く際は、取材した内容を引用して書くことや、それらを適切な分量にまとめて書くことができるようにすることが大切である。

（参照）「言語活動事例集【小学校版】」P. 51～P. 52

国語 B 2

目的に応じ、文章と図とを関係付けて読む〈だれが選ぶ どれを選ぶ〉

2 森山さんは 物事を決めることに関心をもち、次の「だれが選ぶ どれを選ぶ」という【文章】を読みました。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章】
の内容は、あとの問いと関係があります

だれが選ぶ
どれを選ぶ

学校生活においては、学級の係や児童会の委員を決めるなど、みんなで物事を決めることがよくあります。物事を決めるということは、どういうことなのでしょう。

何かを決めるときには、「選択者」と「選択肢」があります。「選択者」とは、選ぶ人のことをいいます。また、選ばれるもののや人のことを、「選択肢」といいます。

学校図書館にあるたくさん本のなかから、目的に応じて本を選ぶことがあります。この場合、「選択者」は学校のみなさん、「選択肢」は学校図書館にあるたくさん本の本です。

(図一)は、「選択者」が一人で、「選択股」で学校図書館に行つて、一冊の本を借りることにしたとします。「選択者」のあなは、「選択股」のたくさん本のなかから、好きな本を選ぶことが出来ます。このような場面では、「選択者」はあなだけ一人なので、どの本を選ばうかなやむことはあつても、最後は、自分の判断で本を決めることができます。

〈図1〉

選ん手 複数

選択肢

一人

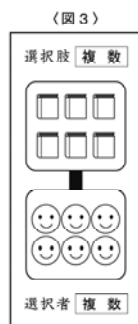
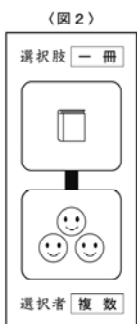
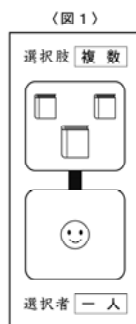
（図2）は、「選択者」が複数で、「選択肢」が一つの場合です。例えば、学校図書館のたぐき集の本の途中で人気のある一冊の本来何人かの人が集まる中ずるような場面です。このような場面では、だれがその本を借りることにするか、折り合いをつけて決めていくことが大切です。たがいにゆずり合わせて解決することを、「折り合い」といいます。

最後に、**〈図3〉**について考えてみましょう。

〔図3〕に、「選択者」が複数で、「選択肢」も複数の場合です。例えば、学級全員で学校図書館に行き、感想文を書く本をそれぞれ一冊選ぶような場面です。このような場面では、「選択者」の一人一人が一冊ずつ本を借りることができますが、選びたい本の希望が重なることもあります。

(図3)は、(図1)と(図2)とはちがう場面のように見えますが、実は(図1)と(図2)の両方がふくまれているといえます。(図3)の場合、まず(図1)のように、「選択者」は自分の判断で自由に一冊の本を選ぼうとします。その中で、複数の人が同じ本を選んだ場合には、(図2)のようにだれが借りるのかを決めることになります。

これら二の図をもとに考えると、物事を決めるときには、まずはそれぞれの人が自分で判断することが大切です。そして、それぞれの人の希望が重なり、意見や判断のちがいが生じたたまりた場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことが大切です。



森山さんは、【文章】の中の難しい言葉とその意味について、次の【ノート①】にまとめています。の中に
ア イの内容を、【文章】の中から書きぬきましょう。

【 \ominus - \ominus 】

〈言葉の意味〉

◇ 選択者
:
選ぶ人のこと

選肢
ア

イ
たがいにゆず

二 森さんは、「文章」の要旨（文章で取り上げている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事）を次の「フート②」にまとめています。

ウの中に入る内容を、「文章」の中の言葉を使い、六十字以上、百字以内で書きましょう。なお、書き出しの言葉は字數にふくみません。

【ノート②】

物事を決めるときには、「選抜者」と「選抜肢」があります。このとき、「選抜者」が一人で

物事を決めるときに大切なことは、

ウ

物事を決めるときに大切なことは、

三 森山さんの学級では、音楽の学習でグループごとに合奏（がっしやう）をするようになりました。そこで、森山さんのグループの五人は、それぞれの希望をもとに、担当する楽器を決めることにしました。次の「楽器の分担図」は、「文章」の内容を参考に五人の希望を整理したものです。あとの「問い」に答えましょう。

【楽器の分担図】

楽器一つに対して一人が担当します。

（合奏で使う楽器）		（グループの五人）	
小だいこ （一人）	木きん （一人）	オルガン （一人）	リコーダー ② （一人）
リコーダー ① （一人）	？	？	？
Cさん Dさん Eさん		Bさん	Aさん

【文章】の（図2）の場合と同じ

（問い） 森山さんのグループでは、「希望者が一人の場合には、その人がその楽器に決まる」ということを確認しています。グループの五人は、楽器の分担をどのように決めていくことになりますか。

【楽器の分担図】をもとにし、次の条件に合わせて説明しましょう。

（条件）

- 「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使って書くこと。
- 「木きん」の決める方については、「文章」の（図2）の中で説明している、決めるときに大切なことを取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉は続けて、八十文字以上、百文字以内で書くこと。なお、「しかし」から始まる書き出しの言葉は字数にふくむ。

※左の「構用紙」は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

100字 80字

しかし、CさんとDさんとEさんは、
Aさんは希望どおりのオルガンに決まります。
Bさんは希望どおりのリコーダー②に決まります。

1. 出題の趣旨

目的に応じ、文章と図とを関係付けて読むことができるかどうかをみる。

本問は、「4年間のまとめ【小学校編】」において、「目的に応じて必要となる情報を取り出し、それらを関係付けて読むこと」に課題があると指摘していることを踏まえて出題した。

目的に応じ、文章と図とを関係付けながら読み、中心となる語や文を基にして文章の要旨を捉えたり、自分の考えをまとめたりすることは重要である。

本問では、物事を決めるという日常生活における課題を解決するために、文章を利用する場面を設定した。ここでは、文章と図とを関係付け、課題に対する自分の考えを整理しながら読むことが求められる。このような読む力は、国語科の学習のみならず、各教科等の学習や日常生活においても重要である。

なお、文章と図とを関係付けて読むことを取り上げたのは、今回が初めてである。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

イ 自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。

2. 解説

設問一

趣旨

目的に応じ、中心となる語や文を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、目的に応じて文章の内容を正しく理解するために、中心となる語や文を捉える場面を設定した。ここでは、【文章】の中から難しい言葉とその意味について書かれている内容を捉えることが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号	解 答 類 型			正答
②	ア	1	「選ばれるものや人のこと」と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	
	イ	1	「折り合い」と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

森山さんが取り上げた難しい言葉とその定義が書かれている文を捉える必要がある。【文章】の中の「……のことを、…といいます。」という文に着目した上で、アに「選ばれるものや人のこと」、イに「折り合い」という内容を正確に書き抜く必要がある。

(参考)

○関連する問題

・平成19年度【小学校】国語B②ー (61.0%)

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P.10～P.11, P.76～P.77

「平成19年度【小学校】解説資料」P.40～P.45

「平成19年度【小学校】報告書」P.117～P.121

設問二

趣旨

目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えることができるかどうかをみる。

本設問では、【文章】の要旨を捉える場面を設定した。ここでは、【文章】の全体の内容や構成を的確に押さえながら、取り上げている内容の中心や、書き手の考えの中心となる事柄を要旨としてまとめて書くことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

書く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
2	二		<p>(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 【文章】の中の以下の内容を使って書いている。</p> <p>a それぞれの人が自分で判断する</p> <p>b (希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、) たがいのことを考えながら折り合いをつけていく</p> <p>② 書き出しの言葉に続けて、60字以上、100字以内で書いている。</p> <p>(正答例)</p> <p>・ (「物事を決めるときに大切なことは、」以下、この書き出しは省略する。) まずは自分で判断することです。そして、希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことです。(93字)</p>	
		1	条件① a, b の両方と、条件②を満たしているもの	◎
		2	条件① a, ②は満たしているが、条件① b は満たしていないもの (例) ○ 「選たく者」であるそれぞれの人が、選ばれるものや人といった「選たくし」の中から、自分で希望して選んだり、判断して決めたりすることです。 (84字) →上記の例は、「たがいのことを考えながら折り合いをつけていく」という内容を取り上げていないが、「それぞれの人が自分で判断する」という内容は取り上げている。	○
		3	条件① b, ②は満たしているが、条件① a は満たしていないもの (例) ○ それぞれの人の希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことです。 (81字) →上記の例は、「それぞれの人が自分で判断する」という内容を取り上げていないが、「たがいのことを考えながら折り合いをつけていく」という内容は取り上げている。	○
		4	条件① a, b の両方を満たしているが、条件②は満たしていないもの	
		5	条件① a は満たしているが、条件① b, ②は満たしていないもの (例) ○ それぞれの人が自分で判断することです。(36字) →上記の例は、「たがいのことを考えながら折り合いをつけていく」という内容を取り上げておらず、文字数が60字を超えていない。	
		6	条件① b は満たしているが、条件① a, ②は満たしていないもの (例) ○ 希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりしたときに折り合いをつけることです。(58字) →上記の例は、「それぞれの人が自分で判断する」という内容を取り上げておらず、文字数が60字を超えていない。	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

本問の【文章】は、序論に「物事を決めるということは、どういうことなのでしょう」という問題提起をし、本論で物事を決める際における「選択者」と「選択肢」との関係を三つの場合に分けて述べている。そして、最後に結論をまとめるという構成になっている。これらの全体の構成を捉える必要がある。

物事を決めるときに大切なこととして、結論の部分に書かれている「それぞれの人が自分で判断する」と「たがいのことを考えながら折り合いをつけていく」という内容を取り上げて、指定された字数の範囲で書く必要がある。

(参考)

○関連する問題

・平成19年度【小学校】国語B[2]— (61.0%)

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P. 10～P. 11, P. 76～P. 77

「平成19年度【小学校】解説資料」P. 40～P. 45

「平成19年度【小学校】報告書」P. 117～P. 121

設問三

趣旨

文章と図とを関係付けて、自分の考えを書くことができるかどうかをみる。

本設問では、図に示された内容を読み取った上で、それと関連する【文章】の内容を的確に押さえながら、自分の考えを書く場面を設定した。ここでは、楽器の分担を決める過程を説明するために、【楽器の分担図】について読み取った内容と、【文章】の中で必要となる内容を合わせて書くことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第5学年及び第6学年〕 C 読むこと

ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

書く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型	正 答
②	三	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使っている。</p> <p>② 【文章】の中で説明している、決めるときに大切なこととして、「折り合いをつけて決めていく」、または「ゆずり合って解決する」という内容を取り上げている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて、80字以上、100字以内で書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (「しかし、CさんとDさんとEさんは、」以下、この書き出しは省略する。) 一人しか希望どおりにいきません。木きんから外れた二人は、リコーダー①か、小だいこをたん当します。三人がなっ得するように折り合いをつけて決めていく必要があります。(98字) ・ 木きんに希望が重なっています。ですから、ゆずり合って解決していくことが大切です。一人はリコーダー①に、もう一人は小だいこのたん当に移ってもらうことになります。(97字) 	
		1 条件①、②、③を満たしているもの	◎
		2 条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
		3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの	
		<p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 三人とも木きんを選び、希望が重なっています。だから、一人はリコーダー①を、もう一人は小だいこをたん当するように決めていくことになります。(86字)</p> <p>→上記の例は、「折り合いをつけて決めていく」、または「ゆずり合って解決する」という内容を取り上げて書いていない。</p>	
		4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの	
		<p>*条件③を満たしているかどうかは不問とする。</p> <p>(例)</p> <p>○ 三人とも希望が重なっています。森永さんのグループでは、それぞれの希望をもとに、楽器一つに対するたん当者は一人です。ですから、折り合いをつけて決めていく必要があります。(101字)</p> <p>→上記の例は、「リコーダー①」「小だいこ」「木きん」という三つの言葉を使って書いていない。</p>	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	

■正答について

【楽器の分担図】では、CさんとDさんとEさんの希望が木琴に重なっている。これを調整するときの考え方を、【文章】の [] の中から取り出す必要がある。

[] の内容は、4文で構成されている。1文目は〈図2〉についての説明をし、2文目では〈図2〉に該当する日常の場面を示している。3文目には、このような場面における大切なことを書いている。この3文目が、中心となる文である。4文目は、3文目に含まれる中心となる言葉についてその意味を補説している。これらを踏まえ、3文目の中の「折り合いをつけて決めていく」、または4文目の中にある「ゆずり合って解決する」という内容を取り上げ、さらには、「リコーダー①」、「小だいこ」、「木きん」という三つの言葉を使い、指定された字数の範囲で書く必要がある。

(参考)

○関連する問題

- ・平成19年度【小学校】国語B[2]— (61.0%)

(参照)「4年間のまとめ【小学校編】」P.10～P.11, P.76～P.77

「平成19年度【小学校】解説資料」P.40～P.45

「平成19年度【小学校】報告書」P.117～P.121

3. 学習指導に当たって

(1) 目的に応じ、中心となる語や文を捉える

(対応設問：設問一)

説明された内容を的確に理解するためには、文章の内容や筆者の考えの中心となる語や文を捉えることが重要である。

説明的な文章においては、中心となる語が繰り返し使われることがある。それが難解である場合、その意味を定義付けていることが多い。中心となる語に着目した上で、その語を含む文全体の意味を的確に理解する必要がある。その文の内容が事実であるのか、感想や意見であるのかなどを、区別して捉えることができるように指導する必要がある。その際、指示語や接続語、文末表現に注意することが大切である。

(2) 目的に応じ、要旨を捉える

(対応設問：設問二)

要旨は、書き手が文章で取り上げている内容の中心となる事柄や、書き手の考えの中心となる事柄などである。要旨を捉えるには、目的に応じて、何のために、どのようなことが必要かなどを明確にした上で、文章の重要な点を表現に即して的確に押さえることが重要である。重要な点としては、例えば、文章に書かれている話題、理由や根拠となっている内容、構成の仕方や巧みな叙述などに着目できるように指導することが大切である。要旨をまとめる際、重要な点を全て列挙するのではなく、求められる分量や表現の仕方などに合わせて書くことができるように指導することが大切である。

(3) 文章と図やグラフなどとの関係付けて、自分の考えをまとめる（対応設問：設問三）

説明的な文章では、書き手が伝えたい内容を読み手に分かりやすく伝えるために、図やグラフなどを用いる場合がある。文章と図やグラフなどとの関係付けて自分の考えをまとめることは重要である。

そのためには、図やグラフなどが添えられた文章を提示し、それらと関係付けて読んだり、自分の考えを書いたりする指導を意図的に行うことが必要である。その際、図やグラフの内容が文章のどこに取り上げられているのか、どの程度詳しく、あるいは簡潔に説明されているのか、図やグラフなどがあることによって文章がどのように分かりやすくなっているのかなど、文章と図やグラフなどとの関係やその効果を捉えることができるように指導することが大切である。

また、図やグラフなどを用いる方法やその効果を理解した上で、説明的な文章を書く際に、図やグラフなどを効果的に用いることができるように指導することが考えられる。その際、他の資料などから必要な内容を引用するときの注意点について、具体的に指導することが大切である。

（参照）「言語活動事例集【小学校版】」P. 195～P. 196, P. 205～P. 206

4. 出典等

・監修 佐伯胖 編集・構成 株式会社造事務所『どんな方法があるの？ 決め方の大研究 ジャンケンから選挙まで』（2012年10月 株式会社PHP研究所）

・著者 佐伯胖『「きめ方」の論理 ——社会的決定理論への招待——』

（1980年4月 財団法人東京大学出版会）

などによる。

1. 出題の趣旨

場面の移り変わりに注意し，登場人物の行動や気持ちの変化について想像しながら音読することができるかどうかをみる。

物語を音読する場合，場面の移り変わりに注意し，登場人物の行動や気持ちの変化について想像しながら読み，それらを声の出し方に反映することが重要である。それぞれの場面の様子について，登場人物の行動や気持ちの変化を中心に想像を広げるとともに，場面と場面とを関係付けて読む必要がある。

本問では，とんち話の中から「びょうぶのとらのお話」を取り上げ，紙芝居にして音読する場面を設定した。ここでは，登場人物の行動に着目して場面の移り変わりを捉えたり，登場人物の気持ちが伝わるように音読したりすることが求められる。

なお，とんち話を取り上げたのは，今回が初めてである。

2. 解説

設問一

趣旨

登場人物の行動を基にして，場面の移り変わりを捉えることができるかどうかをみる。

本設問では，とんち話の一部を二つの場面に分けるための話合いの場を設定した。ここでは，登場人物の行動に着目して読むことが求められる。登場人物の行動が変化したことが分かる言葉や文を見付けながら読むことが必要となる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

ウ 場面の移り変わりに注意しながら，登場人物の性格や気持ちの変化，情景などについて，叙述を基に想像して読むこと。

■評価の観点

読む能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型		正答
③	—	1	1 と解答しているもの	◎
		2	2 と解答しているもの	
		3	3 と解答しているもの	
		4	4 と解答しているもの	
		5	5 と解答しているもの	
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

■正答について

一休さんの行動に着目し、「一休さんととのさま、家来とがやりとりをしている場面」と「とらを追い出そうと動き始めた場面」とを区別して捉える必要がある。3の場面では、一休さんが実際にとらを追い出すために、はちまきをしめ、たすきを掛けて身支度を整え、とらを追い出そうと動き始めている様子を的確に押さえる必要がある。

設問二

趣旨

登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することができるかどうかをみる。

本設問では、とんち話の面白さを伝えるために、登場人物の会話をどのように音読するとよいのかを話し合っている場面を設定した。ここでは、場面の移り変わりを捉え、登場人物の気持ちの変化を想像しながら声に出して読むときの工夫とその理由を書くことが求められる。

■学習指導要領における領域・内容

〔第3学年及び第4学年〕 C 読むこと

ア 内容の中心や場面の様子がよく分かるように音読すること。

〔第5学年及び第6学年〕 B 書くこと

ウ 事実と感想、意見などとを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

■評価の観点

国語への関心・意欲・態度

読む能力

書く能力

解答類型

問題番号		解 答 類 型	正 答
③	二	<p>(正答の条件)</p> <p>次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 声に出して読むときに工夫することを書いている。</p> <p>② とのさまの気持ちについて想像したことを理由として取り上げている。</p> <p>③ 40字以上、80字以内で書いている。</p> <hr/> <p>(正答例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしは、小さい声で読みます。とのさまは一休さんをこまらせようと考えていたのに、逆に一休さんにやりこめられてしまい、落ちこんで元気をなくしたと思うからです。(78字) ・ 大きな声で、あらい感じで読みます。その理由は、とのさまは一休さんの言った言葉に対して腹が立ったと思うからです。(55字) ・ とのさまは、思ったとおりにいなくて残念な気持ちだったと思います。だから、声をだんだん低くして読みます。(52字) ・ とのさまは、無理なことをとんちで解決した一休さんをほめてあげたかったと思います。だから、少し高い声で調子よく読みます。(59字) ・ わたしは、間を取りながらゆっくりとした速さで読みます。なぜなら、とのさまが一休さんのとんちのすごさに感心した気持ちを表すことができるからです。(71字) 	
		1 条件①、②、③を満たしているもの	◎
		2 条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	
		3 条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
		<p>(例)</p> <p>○ わたしは、声に出して読むときには、小さく低い声でゆっくりと読みます。(34字)</p> <p>→上記の例は、とのさまの気持ちについて想像したことを理由として取り上げていない。</p>	
		4 条件②は満たしているが、条件①は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	
		<p>(例)</p> <p>○ とのさまは、とんちで有名な一休さんをこまらせることができなくて、くやしがっていると思います。(46字)</p> <p>→上記の例は、声に出して読むときに工夫することを書いていない。</p>	
		9 上記以外の解答	
		0 無解答	

■正答について

とのさまの会話を声に出して読むときの工夫について、声の大きさや高さ、読む速さ、強弱などの工夫を具体的に示して書くことが必要である。また、そのように読む理由として、とのさまの気持ちについて想像したことを取り上げて書く必要がある。

このとんち話は、当初、一休さんを困らせようと思っていたとのさまが、一休さんのとんちに逆にやり込められてしまうという展開である。この展開を踏まえると、とのさまの気持ちとしては、やり込められたことに対する憤りや悔しさ、または一休さんの見事なとんちに対する感心などの気持ちが考えられる。そのような気持ちを表す声の出し方としては、怒ったような大きな声や強い口調で読んだり、ほめるようにやわらかい調子やゆっくりとした速さで読んだりするなどの工夫が考えられる。

これらを踏まえた上で、指定された字数の範囲で書く必要がある。

3. 学習指導に当たって

(1) 登場人物の行動や会話、情景を基にして場面の移り変わりを捉える

(対応設問：設問一)

場面の移り変わりを捉えるためには、登場人物の行動や会話、情景などを基にすることが重要である。そのためには、各場面の様子を的確に捉えるとともに、場面と場面とを関係付けて読む指導が必要である。具体的には、例えば、本問のように場面に即した挿絵を取り入れて紙芝居を作成することにより、場面の移り変わりを捉えることができると考えられる。また、これまでに読んできた教科書の文章を提示し、時間や場所の変化を表現する言葉や文、場面についての描写などを取り上げ、書かれている内容を短い言葉であらすじとしてまとめることが考えられる。それらのあらすじを基に、場面の移り変わりの特徴を比べることにより、物語全体の展開の面白さに気付くことにつながる。

(2) 場面の移り変わりや登場人物の行動や気持ちの変化を捉えて音読する

(対応設問：設問二)

物語を音読する際は、場面の移り変わりや登場人物の行動や気持ちの変化を捉えることが重要である。一文一文や段落ごとの読みだけではなく、物語全体の内容や構成、展開などを把握することにより、音読を工夫することができる。

その際、登場人物の行動や気持ち、それらの変化などについて聞き手に伝わるような声の出し方の工夫を考えるように指導することが大切である。そのためには、例えば、話合いによって互いの考えを比較したり、関係付けたりしながら解釈を深めていくように指導することが大切である。声の出し方を工夫する観点を示し、その観点に基づいて、実際に音読する活動を通して、子供たち自身が自分の声の出し方を振り返るようにすることは有効である。具体的な観点としては、例えば、声の大きさや質、読む速さ、間の取り方などである。観点に沿って教師が手本を示し、子供たちがその違いに気付くことができるように指導することも大切である。さらに、子供同士で読み合いや聞き合いをしながら、互いに助言をしようという学習を取り入れることも有効である。

(参照)「言語活動事例集【小学校編】」P. 27～P. 28

4. 出典等

- ・作者 寺村輝夫・ヒサクニヒコ『寺村輝夫のどんち話 一休さん』
(1976年7月 株式会社あかね書房)
- ・編集人 小方桂子『名作よんでよんで 日本の昔ばなし 20話 もっと』
(2013年10月 株式会社学研教育出版)
- ・編者 川内彩友美『決定版 まんが日本昔ばなし101』(1997年11月 株式会社講談社)
- ・編者 株式会社主婦と生活社『日本の人気昔ばなし』(1993年6月 株式会社主婦と生活社)
などによる。

IV 解答用紙（正答（例））

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

小学校第6学年
国語A 解答用紙

7011

《ここから右には解答を書いてはいけません。》

1	一	1	まね	(く)	二	1	浴	(ひる)
	2	しんねん			2	巢		
	3	しょうち			3	病院		

2	一	1	イ	2	ウ	
	二	1	イ	2	ウ	3

3	A	3	B	1	C	5
---	---	---	---	---	---	---

4	3
---	---

5	一	2	4	※解答の順序は問わない。	
	二	読	書		と

6	ア	2	イ	1	ウ	5
---	---	---	---	---	---	---

7	4
---	---

《ここから下には解答を書いてはいけません。》

学校名	組	個人番号①	個人番号②

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1061

小学校第6学年
国語B 解答用紙

〈ここから下には解答を書いてはいけません。〉

1	一	—
	二	1
	三	3

※◆の印から書きましょう。とよめつて行を変えなくて、続けて書きましょう。

例 また、参加された中田とよさんは、◆「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、目を細めながら明るい声で話してくださいました。

40字 70字

2	一	ア 選ばれるものや人のこと
	イ	折り合い
	二	<p>※◆の印から書きましょう。とよめつて行を変えなくて、続けて書きましょう。</p> <p>例 物事を決めるときに大切なことは、◆まずは自分で判断することです。そして、希望が重なったり、意見や判断のちがいが生じたりした場合には、たがいのことを考えながら折り合いをつけていくことです。</p>

60字 100字

2の三と3の解答らんは、裏面にあります。

〈ここから下には解答を書いてはいけません。〉

学校名

組

個人番号①

個人番号②

27 国B

※個人番号票を見ながら、1ますに1けたずつ、数字を書き写してください。

※ 各設問の正答の条件、他の解答例などについては、「Ⅲ 調査問題の解説」の「解答類型」等に記載していますので、採点や学習指導の改善等に当たってはそちらも御参照ください。

1062

国語B

《この枠内には解答を記入してはいけません。》

2

※◆の印から書きましょう。とまゆつて行を空さないで、続けて書きましょう。																				
例	し	か	し	、	C	さ	ん	と	D	さ	ん	と	E	さ	ん	は	、	◆	一	人
しか希望どおりにいきません。木ぎんから外																				
れた二人は、リコーダー①か、小だいこをた																				
ん当します。三人がなっ得するよう折り合																				
いをつけて決めていく必要があります。																				

80字
100字

3

※◆の印から書きましょう。とまゆつて行を空さないで、続けて書きましょう。																					
例	◆	わ	た	し	は	、	小	さ	い	声	で	読	み	ま	す	。	と	の	さ	ま	は
一休さんをこまらせようと考えていたのに、																					
逆に一休さんにやりこめられてしまい、落ち																					
こんで元気をなくしたと思うからです。																					

40字
80字

《この枠内には解答を記入してはいけません。》

V 点字問題（抜粋）

A 主として「知識」に関する問題

1

次の 1. 2. に答えましょう。

1. (1) から (3) までの文の「・・・」で示した言葉の意味を答えましょう。

- (1) 友人を家に「招待」する。
- (2) 自分の「信念」をつらぬく。
- (3) 全員がすぐに「承知」した。

2. (1) から (3) までの文の「・・・」で示した部分と同じ漢字を用いるものを、ア. から エ. までの中からそれぞれ一つ選んで、その記号を書きましょう。

(1) 「りよう」きんをしはらう。

(2) 鳥の巣を「かん」さつする。

(3) びよう「いん」に行く。

ア. 「りよう」ほう
イ. ふ「りよう」ひん
ウ. にゅうじよう「りよう」
エ. だいとう「りよう」

ア. としよ「かん」
イ. む「かん」けい
ウ. じ「かん」
エ. 「かん」こうち

ア. じ「いん」
イ. 「いん」さつ
ウ. げん「いん」
エ. 「いん」りよく

解答類型（点字問題部分）

A 主として「知識」に関する問題

問題番号		解 答 類 型			正 答
1	1. (1)	1	「客を招くこと」という意味が含まれているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	1. (2)	1	「かたく信じて動かない心」という意味が含まれているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	1. (3)	1	「聞き入れること」「知ること」「わかること」という意味が含まれているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	2. (1)	1	ウ. と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	2. (2)	1	エ. と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		
	2. (3)	1	ア. と解答しているもの		◎
		9	上記以外の解答		
		0	無解答		

- (1) 点字タイプライタを使って書いた作文を応募する。
- (2) 夏休みに行われた花火大会の様子を作文に書いて応募する。
- (3) 書いた作文を二〇一五年九月十八日までに届くように送る。
- (4) 夏祭りの作文と海に出かけたときの作文を二つ書いて両方送る。

解答類型（点字問題部分）

A 主として「知識」に関する問題

問題番号		解 答 類 型		正答
7		1	(4) と解答しているもの	◎
		9	上記以外の解答	
		0	無解答	

六年生の星野さんは、次の「作品募集の案内の一部」を読^おんで、作文を応募^{おう}することにしました。「応募のきまり」を守っていないものを、21ページの(1)から(4)までの中から一つ選^えんで、その番号を書きましよう。

「作品募集の案内の一部」

心に残る 夏の出来事 作文コンクール 2015

夏祭りや自然体験など、あなたの心に残る夏の出来事を作文に書いて送ってください。

(応募のきまり)

1. 対象・部門

小学校 1 2 3 年生部門

小学校 4 5 6 年生部門

2. 作品

- (ア) 未発表作品で、出品は一人1点に限ります。
- (イ) 点字用紙を使用してください。
- (ウ) 点字ばん、点字タイプライタのどちらを使ってもかまいません。
- (エ) 作品の題名、学校名、学年、氏名、自宅^{じたく}の住所を書いてください。
- (オ) 作品は、お返しできません。

3. しめ切り

2015年(平成27年)9月18日(金)必着

(入賞者発表)

2015年(平成27年)10月末日までに
入賞した人に郵送^{ゆうそう}で連絡^{れんらく}します。

1

3. 「ふれあい新聞（六月号）」の(ア) の中には、あやとりのコーナーに参加した中田とよさんの感想をのせることにしました。下の「中田とよさんへのインタビューの様子」の内容をまとめて書きます。次のページの条件(1)(2)に合わせて書きましょう。

「中田とよさんへのインタビューの様子」

(ア) 2ページ11行目

(話した内容)

あやとりのコーナーに参加してよかったわ。

それはね、一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれたからなの。

みなさんも準備が大変だったことでしょうね。町で会ったときにはいつでも声をかけてください。今度の案内も楽しみにして待っていますね。

(声の調子や雰囲気)

明るい声、やさしそう

(条件)

- (1) 8ページ下から8行目の「あやとりのコーナーに参加してよかったわ。」についての理由が分かる言葉を、(話した内容)の中からかきかっこを使って取り出し、その言葉と(声の調子や雰囲気)の内容の内容を合わせて、一文で書くこと。
- (2) 次の書き出しに続けて、40マス以上、80マス以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は書かなくてよい。

書き出しの言葉―また、参加された中田とよさんは、

解答類型（点字問題部分）

B 主として「活用」に関する問題

問題番号	解 答 類 型	正答
<div data-bbox="220 439 256 472">1</div> <div data-bbox="300 439 336 472">3.</div>	<p>（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。</p> <p>① 以下の内容を合わせて書いている。</p> <p>a 「（一年生のみんなに）様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」 b 明るい声でやさしそう ＊ 「明るい声」、「やさしそう」のいずれか一方のみを取り上げているものも含む。</p> <p>② 一文で書いている。</p> <p>③ 書き出しの言葉に続けて、点字40マス以上、点字80マス以内で書いている。</p> <p>（正答例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ （「また、参加された中田とよさんは、」以下、この書き出しの言葉は省略する。）「様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、明るい声でやさしそうに話してくださいました。（68マス） ・ 「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、やさしそうに話してくださいました。（72マス） ・ 「様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、明るい声で話してくださいました。（62マス） 	
	<div data-bbox="375 1079 411 1113">1</div> <div data-bbox="443 1079 1294 1113">条件① a, b の両方と、条件②, ③を満たしているもの</div>	◎
	<div data-bbox="375 1180 411 1214">2</div> <div data-bbox="443 1180 1294 1276">条件① a, b の両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの</div>	
	<div data-bbox="375 1283 411 1317">3</div> <div data-bbox="443 1283 1294 1400">条件① a, b の両方を満たしているが、条件②は満たしていないもの ＊条件③を満たしているかどうかは不問とする。 （例） ○ 「様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、話してくださいました。明るい声でした。（66マス） →上記の例は、一文で書いていない。</div>	
	<div data-bbox="375 1406 411 1440">4</div> <div data-bbox="443 1406 1294 1821">条件① a または b のいずれか一方を満たしているもの ＊条件②, ③を満たしているかどうかは不問とする。 （例 1） ○ 「みなさんも準備が大変だったことでしょうね」と、うれしそうに話してくださいました。（57マス） →上記の例は、「（一年生のみんなに）様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」という内容を取り上げていない。 （例 2） ○ 「一年生のみんなに様々な形を教えてあげたら喜んでくれた」と、話してくださいました。（65マス） →上記の例は、「明るい声」、「やさしそう」のどちらの内容も取り上げていない。</div>	
	<div data-bbox="375 1827 411 1861">9</div> <div data-bbox="443 1827 1294 1861">上記以外の解答</div>	
	<div data-bbox="375 1897 411 1930">0</div> <div data-bbox="443 1897 1294 1930">無解答</div>	

VI 擴大文字問題（拔粹）

拡大文字問題は、通常問題と同様の趣旨・内容で作成しているが、弱視児童の見え方やそれに伴う負担等を考慮して、B4判にするとともに、次のような配慮を行っている。

- (1) 文字の大きさを22ポイントとし、丸ゴシック体・中太とする。
- (2) 十分な字間及び行間等に設定する。
- (3) 必要に応じて、拡大率やレイアウト等を変更する。

【通常問題（抜粋）】 A5

5

次は、読書のことについて書かれた新聞の【コラム】（筆者自身の思いや考えなどを述べた短い記事）です。この【コラム】は、全体の内容が1から5までのまじりに分かれていきます。これをよく読んで、あとの一と二の問いに答えましょう。

【コラム】 記事の中の▼は、まじりを表す印です。

1 ▼四月二十三日

は「子ども読書の日」。世界では「世界の本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しさを味わう日である。2 ▼子供のころ、宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。栗田の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書という

ものは、その時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付けなかった人物の見事なえがきやたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も意心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

1 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまじりを、【コラム】の中の1から5までのの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

2 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点（。）や読点（、）かぎ（『 』）は字数にふくみません。

※ 解答は、解答用紙に書きましょう。

小国A-8

小国A-7

A5では、下のような配慮を行い、次のページのようにした。

- ① 【コラム】の段組を解除するとともに、文章全体を見開きで提示している。
- ② 【コラム】内の文章の行間について、設問と同様に、広めに確保している。

「コラム」

記事の中の▼は、まとまりを表す印です。



1 ▼四月二十三日は「子ども読書の日」。世界では「世界本の日」とも呼ばれている。本とその作者たちを敬うとともに、読書の楽しみを味わう日である。

2 ▼子供のころ、宮沢賢治の『セロ弾きのゴーシュ』に夢中になった。楽団の中で、一番へたなセロ弾きであるゴーシュが、動物たちとの出会いを通して成長していく様子に心がおどった。3 ▼ある作家の言葉に、「読書というものは、その

小国A-23

※1「描写」…かき表すこと。

※2「童心」…子供の心。

時その時によって読みの味わいがちがう」というものがある。子供時代に読んだ本を大人になって読み返すと、また別の楽しみが味わえるものだ。4 ▼先日、『セロ弾きのゴーシュ』を再び読んだ。当時は気付かなかった人物の見事なえがき方やたくみな描写に、賢治のすばらしさを実感した。5 ▼世界の人々が本について考える日。子供はもちろん、かつて子供であった大人も童心に返って本を楽しむ。そんなひとときもよいものだ。

小国A-24

一 筆者は、「子ども読書の日」について、自分の読書体験を交えながら書いています。その体験が書かれているまとまりを、「コラム」の中の1から5までの中から二つ選んで、その番号を書きましょう。

--	--

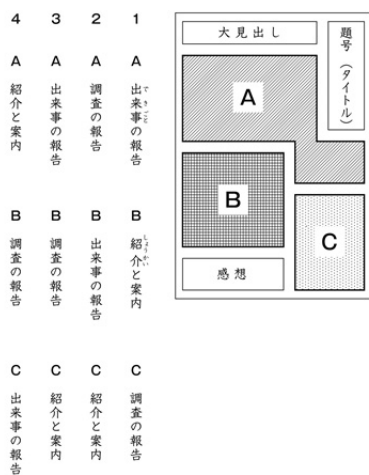
小国A-25

二 筆者は、自分の思いや考えを根拠付けるためにある言葉を引用しています。それは、どの言葉ですか。最も適切な言葉のはじめの五文字を書きぬきましょう。ただし、句点（。）や読点（、）、かぎ（『』『』）は字数にふくみません。

--	--	--	--	--

小国A-26

【通常問題（抜粋）】 B1ー



小図B-2

小図B-1

B1ーは、下のような配慮を行い、次のページのようにした。

- ① 見開きページで【ふれあい新聞（六月号）】の内容を提示できるよう、横置きにするとともに、新聞のレイアウトを変更し、文字の大きさや行間等を拡大している。
- ② 設問一について、新聞の【わり付け】に関する設問であることを踏まえ、当該設問も横置きとしている。
- ③ 選択肢の内容のまとまりをわかりやすくするため、それぞれの選択肢を枠囲みにしている。

ふれあい

五月十一日(火)・東小
校においで、地ろきのおい
じさんやおばあさんといっ
た交流会を開きました。

交流会では、大生
の運ばのま、(お宝
王)「けん王」「あや
王」などのコーナ
ーに分かれて、いっ
しちに遊びました。

おじさんやあや
あさん、遊方
や上手にできるコ
を教へてはだきま
した。その時にも
お話をしだい、かた
ちをまたにひいて

流を流めることができた。

あやとらのコーナに参加
した一年生の児童や、さん
は、「ほつきの形の作り方を
やさしく教へてもらって、れ
じかにして。」と、いかにして
しました。

まは、参加された中にも
さん、

ア

(平成27年)
5月28日
東小学校
新制委員会

6月号
2015年
5月28日
東小学校
新制委員会

おやとひで
ほつきをすくつかつたよ

(木村・三子)

【ふれあひ新聞（六月号）】

小国B-2

「子どものこと」
好きだった遊び
おにぎり
・かくれんぼ
・あやとり
・コマ遊び
・お手玉
・ぼく
・じんとり
・けん玉

など



「行事の日が近くなり
ましたら、ちらしをお
配りします。
地いきのみなさん、
ぜひご参加ください。」

地いきの方々と地あう
行事や活動の予定

7月11日 (土)
東川バザー
9月26日 (土)
東川運動会
10月16日 (金)
ふれあい讀書会
11月21日 (土)
東川祭り

小国B-3

【おひき】

。U/ 9 C 9#

木村さんたちは、次のような【わり付け】
にして、『ふれあい新聞（六月号）』を制作
しました。A・B・Cにはそれぞれどのよう
な内容が書かれていますか。その組み合わせ
として適切なものを、あとの 1 から 4 ま
での中から 1 つ選んで、その番号を○で囲み

小国B-4

1

A 出来事できごとの報告

B 紹介しやうかいと案内

C 調査の報告

2

A 調査の報告

B 出来事できごとの報告

C 紹介と案内

3

A 出来事できごとの報告

B 調査の報告

C 紹介と案内

4

A 紹介と案内

B 調査の報告

C 出来事できごとの報告

小国B-5

